

平成23年度 第2回総合計画審議会(6/17) 5章関連意見一覧

章・項		意見	対応
第5章	全般	今回示された後期基本計画は、現状の延長線上の記述である。新しい発想と具体的取り組み(体育館イベント、屋台村、音楽会)を示すべきと考えるが。 またその取り組みは、町から積極的に提案すべきだが。	基本計画は、9年間の施策の方向性を示すもので、具体的な取り組みについては実施計画の中で位置付けています。
		産業の発展については、道路網の整備が重要。企業誘致も観光客も道路網整備で解消できる。	
第1項	商業の振興	「寒川神社の参拝客をはじめ、多くの来町者に親しめる商店街づくり～」の記述については、買い物客を中心市街地へ導くことを意図していると思うが、寒川神社の最寄り駅は「宮山駅」であり、寒川神社から中心市街地の誘導について、交通機関に協力を得ながら進めることを基本計画に位置付けられたい。	公共交通との連携については、チラシやポスターによる周知なども考えられます。多方面からの協力・連携について検討します。
第5項	観光の振興	観光の振興は、基本構想策定段階から充実されたいと指摘してきた。具体的施策を位置付けた基本計画としてはさみしいと感じる。	重点的に進めることについて、認識はしています。具体的な観光推進については、現在策定中である「観光振興計画」により進めていく考えを持っています。また、基本計画の中では、主要事業として「観光振興計画推進事業」を位置付け進めたいと考えています。
		観光とは総体的であり、他の組織との連携など重点的に進める町内に点在化する観光資源として、「川」などを活用した施策が位置付けられていないが。	
		観光の振興の目標指標は「観光導線の核となる農産物直売所数」が妥当か。よく精査されたい。	目標とする指標の根拠は、商業、農業などと連携した資源ネットワーク化(導線づくり)の充実度を見る指標として設定しています。他の目標指標についても検討したいと考えま
		現在策定中の「観光振興計画」のビジョンが見える形で基本計画の中に位置付けられたい。	観光の振興については、下位計画である「観光振興計画」に委任する形で推進したいと考えております。ビジョンが見えるような掲載方法については、検討いたします。
		観光の振興について、さがみ縦貫道路の開通は重要なインパクト。それらを起爆剤とする表現や広域連携を強調されたらどうか。	